

2026  
10.21 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_PBzqMxQ3S-Wpdghr\\_\\_FsuQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_PBzqMxQ3S-Wpdghr__FsuQ)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# タコを通して考える

## ～身体で感じるマルチモーダルな感覚世界～



## Key Words

## 頭足類

多感覚認知

視覚

体性感覚

身体性

川島 堇 ポスドク研究員

琉球大学 理学部

2022 年琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程を修了し博士（理学）を取得しました。日本学術振興会特別研究員 DC1、琉球大学科研費研究員を経て現在は琉球大学理学部池田研究室とキャノン株式会社の共同プロジェクト「頭足類における光情報処理の研究」ポスドク研究員として、イカやタコの感覚世界に関する研究を行っています。タコが餌を探索する場面、新規物体を学習する場面における視覚・触覚の役割を検証した成果 (Kawashima & Ikeda, 2021, 2025 Zool. Sci) は、動物の認知や表象の多様性を理解する上で有意義として 2022・2026 年度 Zoological Science Award (論文賞)・藤井賞を受賞しました。その他に、タコが自己の身体も多感覚的にイメージすることを検証した成果 (Kawashima & Ikeda, 2025 Curr. Biol) は身体所有感覚の進化を探る上で重要な発見として世界中で報道されました。

私たちは五感（視覚・触覚・聴覚・味覚・嗅覚）を通して世界を感じ、記憶に留めることができます。そのおかげで、例えば以前食べた料理の写真を見ただけで、その味や匂い、食感といった様々な感覚を思い出すこともできます。このように複数の感覚を用いる認知様式をマルチモーダル認知と呼びます。タコもヒトと構造の似た眼や沢山の吸盤を通して、視覚・触覚・味覚といった様々な感覚情報を受け取っています。それでは、タコも何かを見ている時、それを過去に触った感覚を思い出すのでしょうか？その感覚の主体である自身についてはどのように感じているのでしょうか？タコの感じる世界をのぞくことは、私たち自身の感覚世界を改めて見つめるきっかけにもなるかもしれません。